

「JFN賞2009」各賞決定！

「企画部門」大賞

TOKYO FM 「SEIKO presents ゆく年くる年～一秒の言葉」

「CM大賞」

TOKYO FM 「愛の番号案内サービス」(120秒)

「統一部門賞・日本航空賞」

FM石川「匂い」(20秒)

TOKYO FMをはじめJFN（全国FM放送協議会）加盟38局が、放送活動並びに新規事業の活性化と質的向上を目指し、社会的影響力や企画力からJFNグループ全体の発展に大きく貢献した局を表彰する「JFN賞」各賞が決定いたしました。

本年度「JFN賞2009」の表彰式は7月16日、TOKYO FMホールで行われました。今年の「企画部門」大賞には、TOKYO FMの「SEIKO presents ゆく年くる年～一秒の言葉」が決定。25年ぶりに復活した名作CM「一秒の言葉」をテーマに、F協特番「ゆく年くる年」の20年ぶりのスポンサード（セイコー）を実現。全国から3100件に上る感動的な「一秒の言葉」が寄せられ、一般紙でもとりあげられました。スポンサー満足度も高く、「ヒューマン・コンシャス」を具現化する企画として、JFNの媒体力を世の中にアピールすることに大きく貢献したことが高く評価され、今回の大賞受賞となりました。

また優秀賞には、TOKYO FMの『NISSAN あ、安部礼司』におけるクロスメディア展開について、FM AICHIの「中華の『バーミヤン』エリア・キャンペーンの成功の秘密はオリジナルの“レシピ”と“かくし味”にあった!」、JFNCの『DIVA'S DREAM FESTA』を始めとするイベント制作と営業」がそれぞれ選ばれました。

そして「CM部門」の最優秀作品に贈られる「CM大賞」は、TOKYO FM制作の「愛の番号案内サービス」(120秒)、第1部門最優秀賞(20秒以内)には、TOKYO FM制作の「でんわばん」(20秒)、第2部門最優秀賞(21秒以上)には、FM長野「人生の自立」(90秒)がそれぞれ選ばれました。

さらにJFN加盟各局が制作、優秀作を決する「統一部門賞」では、今回は「日本航空」のCM制作を各局競った結果、FM石川の「匂い」(20秒)が最優秀作として日本航空賞に選出されました。

今回の審査について審査委員長の天野祐吉氏が、

「広告の土俵が大きく変わり、WEBの台頭など、広告界は大きな曲がり角に差し掛かっています。

しかし、優れたオリジナリティが必要であるという、広告の基本は変わりません。統一部門賞受賞のFM石川の作品は、誰も考え付かないような発想が素晴らしかったですが、もっと冒険心に富んだ作品が多く出揃ってもよかったですと思います。独創性を貫かないとオリジナリティは生まれませんので、来年はそのような作品に期待したいと思います。」

」

と締めくくり、授賞式が終了いたしました。

各賞の結果は次の通り。

◎ JFN賞・企画部門

「JFN賞・企画部門」は加盟各局がエントリーした年間の放送・事業・営業活動事例をJFN各委員会委員長、副委員長から成る「JFN賞選考委員会」が選定する。今年は、エントリー

27社48件の中から、先に開催された選考委員会で以下の各賞が決定した。

■ 大賞

TOKYO FM 「SEIKO presents ゆく年くる年～一秒の言葉」

25年ぶりに復活した名作CM「一秒の言葉」をテーマに、F協年末特番を企画・制作し、セイコー・ホールディングスとして20年ぶりとなる「ゆく年くる年」のスポンサードを実現。本企画にはJFN38局の地元でのプロモーションにより、全国のリスナーから3100通に上る感動的な「一秒の言葉」の数々が寄せられ、とりわけ、グランプリに輝いた「また、あした」のエピソードは大きな感動と共感呼び起こし、全国紙でも大きく話題として取り上げられた。制作・営業両面にわたる功績を高く評価。

■ 優秀賞

TOKYO FM 「NISSAN あ、安部礼司」におけるクロスメディア展開について

クロスメディア展開の先駆的番組である本番組は、槇原敬之による書き下ろしテーマソングのリリース、脚本集の発売累計3万3千部突破、安部礼司ウェディング・パーティの類をみない熱狂的反響など、年を追うごとに番組発信力を強化し、業界におけるクロスメディア展開の大きな成功事例を創った。さらに、スポンサーの日産自動車全国販売店での番組ステッカー配布キャンペーンでは、TVを遥かに上回りメディア中1位となる集客力を発揮し、まさにラジオの持つコンテンツ・クロスメディア・パワーを実証された。

■ 優秀賞

FM AICHI 中華の「バーミヤン」エリア・キャンペーンの成功の秘密はオリジナルの“レシピ”と“かくし味”にあった！

地域のFM局の番組やCMを通して放送区域の外食チェーン店「バーミヤン」の顧客動員数を全国上位まで高めた。営業の直セールスから始まって、リスナーを巻き込んだ話題づくりをしかけ、まさにリスナーとスポンサーを結ぶFMの媒体力を証明した。

■ 優秀賞

JFNC 「DIVA'S DREAM FESTA」を始めとするイベント制作と営業

20歳前後の女性層をターゲットにファッション雑誌ViVi（講談社）と連携し実施したイベントの第2回は、スケールをさらに拡大し、倅田來未など著名アーティストのブッキングで動員数10,000人（昨年度3000人）、また会場内のスポンサーブースの拡大などで協賛金総売り上げ1億6000万円を獲得するなど大きな成果をあげた。その他、「ロックの学園」や「鎌倉音楽祭」もそれぞれ、開催地の地元からの支持が大きく、そのマルチメディア展開もあいまって話題性と高い売上を達成し、JFN全体のイベント制作力と営業力を世の中にアピールすることに貢献した。

■ 奨励賞

FM岩手 遠野物語100年、昔あったずもな

柳田國男が発表して来年100周年を迎える「遠野物語」を題材にして、今年4月から、週一15分番組としてレギュラー番組をスタート。毎週1話ずつ、地元の語り部の滋味あふれる語りと民俗学研究家の解説を織り交ぜ、地元の財産を使って一つの世界を創造することに成功している。内容・演出ともにレベルが高く、JFN全体の制作力の高さをアピールすることに貢献した。

■ 奨励賞

FM佐賀 特別番組ラジオドキュメント「弥生の使者・徐福」

秦の始皇帝の命で不老不死の薬を求めて東の海へ船出したといわれる徐福。佐賀県各地には、徐福にまつわる伝説が数多く残っている。番組は、その徐福伝説の紹介から始めて、徐福渡来と同時代に興った吉野ヶ里遺跡との関わりについて検証していく。有識者への各種取材や音源収集など丹念な作業を通して、地元ならではのテーマを全国スケールで聞きごたえのある番組にしたことに成功した。

■特別賞

FM福岡 ラジオドラマ「聞こえない声～有罪と無罪」

裁判員制度に題材をとった本ラジオドラマは、テーマの現代性以上にすぐれたドラマ性やストーリー性をもっており、演出水準も高い。ラジオならではの「聞こえない声」という音素材を巧みに扱って成功している。番組は、平成20年度の芸術祭賞優秀賞や民放連賞優秀賞を受賞した（09年6月にはギャラクシー賞ラジオ部門大賞も受賞）。ラジオ界のなだたる賞を総なめにした本ドラマは、JFNの誇りである。

◎JFN賞・CM部門

JFN加盟38社のCM制作の向上とCMを通じて地域社会の文化に貢献することを目的として優秀CM作品を表彰するのが「JFN賞・CM部門」。

今年の審査対象は2008年6月1日から2009年5月31日までの間、JFN加盟各局が自社で企画または制作、放送したCM。斬新な発想や演出と技法、地域性、公共性、影響力（CM効果）が審査基準となる。エントリー総数123本のなかから大賞のほか、部門各賞（20秒以内、21秒以上）、加盟各局が協賛企業のCM制作を競う統一部門が決定した。今年には日本航空のCM制作を競った。審査委員長の天野祐吉氏（コラムニスト）、小野田隆雄氏（コピーライター）、弘兼憲史氏（漫画家）の2名の特別審査員をはじめ、JFN各局のCM制作担当者、38名により公開審査会が行われ、以下の各賞が決定した。

【JFN CM大賞】

TOKYO FM 「愛の番号案内サービス」（味の素㈱／120秒）

【第1部門 最優秀賞】※20秒以内（エントリー数＝39本）

TOKYO FM 「でんわばん」（カルピス㈱／20秒）

【第2部門 最優秀賞】※21秒以上（エントリー数＝34本）

FM長野 「人生の自立」（㈱プリオコーポレーション／90秒）

【統一部門 日本航空賞】 エントリー数 20秒＝38社50本

FM石川 「匂い」（日本航空／20秒）

【奨励賞】

○地域ブロック賞

- ・北海道・東北 FM仙台 「Jーリーグディビジョン2ベガルタ仙台試合開催告知
5月16日第15節徳島ヴォルティス戦」
(㈱ベガルタ仙台／20秒)
- ・関東・甲信越・静岡 RADIO BERRY 「なんでだろ？」（ビッグツリースポーツクラブ／20秒）
- ・中部・北陸 FMとやま 「ニュースキャスター」
(トナミ運輸㈱インターネットサービス／40秒)
- ・近畿・中国・四国 FM大阪 「SDDメッセージ リスナー」（㈱エフエム大阪／40秒）
- ・九州・沖縄 FM沖縄 「不景気を吹っ飛ばせ！Bタイプ」
(㈱エフエム沖縄（局報）／80秒）

○出演者賞：FM大阪 「くいだおれ太郎」（日本航空／20秒）

○コピー賞：FM高知 「誰かの手帳」（日本航空／20秒）

【制作者審査員賞】

FM沖縄 「不景気を吹っ飛ばせ！Bタイプ」（㈱エフエム沖縄（局報）／80秒）